



主要輸出国・地域の状況



資料：アメリカ乳製品輸出協会

EU

2010年5月から2012年6月まで、前年同月を上回って推移していましたが、2012年7月以降、前年同月を下回って推移しています。減産要因は、欧州の一部地域での天候不順、年初から5月まで乳価が低調であった事、米国の干ばつによる穀物価格高騰による生産コスト増などがあります。

アメリカ

昨年末から乳価が下落傾向にある中、干ばつによる乾草生産量の減少や飼料穀物の価格高騰を受けて搾乳牛の淘汰を始めるなど、酪農家の生産意欲減退が見られています。8月の生乳生産量は、前年比0.3%減となり2年7ヶ月ぶりに前年水準を下回りました。今後も、生乳生産量は前年水準を下回って推移すると見込まれます。

ニュージーランド

2012/13年シーズンも好調を維持し、7～9月の累計では前年比8.4%増となりました。シーズン通年では過去最高であった前シーズンを2～3%超と予想されています。

オーストラリア

2012/13年シーズンも、好調を維持し、昨年8月以降14カ月連続で前年同月を上回っています。増産を牽引しているのは、豪州の生乳生産の約2/3を占めるビクトリア(VIC)州です。これまで気象条件に恵まれて、水利用可能量が豊富なため、干ばつによる影響からの回復が進んでいる事がVIC州の増産要因です。今シーズン通年で2%増と予想されています。

アルゼンチン

過去2年間連続して10%以上の増加を続けてきましたが、天候不良により2012年第3四半期は2.2%減となりました。

主要乳製品動向

脱脂粉乳

2012年末時点、相場は安定しています。季節的にオセアニアの生産量は増加し在庫は積み上がっています。2012年1～8月の累計における輸出統計は、EUが前年比22%増の395千メトリックトン(以下M/T)、米国が9%増の316千M/Tと伸ばしました。輸入においてはメキシコが29%増の163千M/T、中国が61%増の130千M/Tとなっています。

相場(US\$建FOB)：EU 3,300-3,550/M/T、オセアニア 3,225-3,525/M/T

全粉乳

2012年末時点、相場は安定しています。脱脂粉乳同様、季節的にオセアニアの生産量は増加していますが、販売コミット済みのようです。2012年1～8月の累計においてニュージーランドからの輸出は引続き好調で17%増の830千M/T、EUは同期前年度ほぼ同数の280千M/Tを輸出しましたが、オセアニアに比べて割高である事から苦戦している模様です。このためEUの生産はチーズ中心となっているようです。

輸入は中国が最大であり、2012年1～8月の累計において前年比17%増の830千M/Tとなりました。

相場(US\$建FOB)：EU 3,725-3,950/M/T、オセアニア 3,200-3,500/M/T

乳脂肪製品

2012年末時点、季節的にオセアニアの生産量は増加していますが、在庫過多となるレベルではなさそうです。EUではチーズ中心の生産である事から、クリームの供給が逼迫し、バター供給がタイトになり価格が上昇している模様です。

相場(US\$建FOB)：EU 4,000-4400/M/T、オセアニア 3,025-3450/M/T



資料：アメリカ乳製品輸出協会

今後の注目点

2012年末現在、乳製品の相場は比較的安定しています。2013年の海外乳製品相場を考える上で、ひとつポイントとなるのはニュージーランドの2013年前半の天候です。放牧を基本とする同国の酪農では、しばしば天候が生乳生産量を大きく左右させる要因となります。米国並びにEUが生乳生産量を減少させている現在、さらにニュージーランドの生乳・乳製品生産が減少となると、相場が上昇する可能性があります。

弊社では、バター・脱脂粉乳などを配合した各種輸入調製品並びに農畜産業振興機構によるカレントアクセス輸入乳製品を取扱っておりますので、弊社営業担当者まで是非ご相談ください。

